会員だより

庭の八朔のみかん

我が家の庭には八朔と甘夏合計３本の古い木が有ります。

この家を建てて暮らし始めた頃、南側の道路から家の中が良く見えるので目隠しになればと思い植えたものです。

道を行きかう人に
四季と頬笑みを与える
果実の木のカーテン

今では、毎年沢山の実をつけ、ご近所の方に食べて頂いたり、友人宅へ持っていったりで消費するのが大変です。

夏みかんは鋏で収穫するまで、しっかりと枝にしがみついていますが、八朔は熟すとポトン、ポトンと簡単に落下します。強い風が枝を揺するとゆらり、ゆらりと実が揺れて草むらへ落ちる音が、部屋の中に居ても聞こえてきます。

又、実が落ちてもすぐ取り込まず自然のままにして置くと一層熟するであろうと思い、数日経ってから取りに行く事も有ります。

八朔は熟すと
ポトン・ポトン

ところがある朝、木の下に２・３ヶ落ちていたがその内にと収穫せずにしていると、そこにあるはずの八朔が無くなり食べた後の残骸だけが残っているのです。

犬猫が皮をむいて、みかんを食べると言う話は聞いた事が無いし、枝になっている実を野鳥がつっついて穴を開けて食べる事は知っているが、しかし変だなぁ、何者が食べたのかひょっとしたら人間かな。

我が家は、過去４回も泥棒に入られた事が有る。夜中に誰かが庭に入って来て家の中の様子を窺いながら、みかんを食べていたのかな。

下手な皮のむき方だから、柑橘類に馴染みのない国の人間だな、どこの国の人間かな等色々と考えていたら夜、寝付けなくなった。

あるサークルの友人に現場を見てもらったが解らないと言われたし、わざわざ警察の方に来て頂く程の事でもないしと、納得のゆかない気持ちが何日か続いた。

ある日、又３ヶ程美味しそうなものが落ちていた。買い物から帰宅し、薄暗くなりかけた頃みかんを取りに木の下へやって来ると、何やら動く者がいた。

ハクビシン
落ちてる八朔いただくよ！

良く見ると、猫程の大きさで丸い目をした黒っぽい動物で鼻から後頭部にかけて白い毛並みが続いている。可愛らしいくりくりした目でじっと私を見ている。

私も初めて出会ったその動物を見つめつつ、小石を傍らへポンと投げてみた。

しかし微動だにせず「落ちてるみかんを食べて何が悪いねん！」と言いたげな顔をして私を見続けている。もし、こっちの方へ飛びかかってきたら恐いなぁと思い「いいよ、みんなあげる ゆっくりおあがり」と小声で咳きながら後ずさりし家へ入った。なぜかホットし、大きな息をしました。

後日あるサークルで友人に話したら「ハクビシンでしょう！ 近所の畑でも作物がやられてるらしいよ、良かったやん！人間と違って良かったね～」と喜んでくれた。

本当に安心しました。色々と想像を巡らし不安な数日を過ごしたが、一件落着で気持ちがすっと軽くなりました。

記：田中　容子

玄関のインテリア ジャコウモミジ

「ジャコウモミジ」は「におい楓」とも呼ばれています。

枝の葉っぱにスカートがすれてもか弱い匂いがします。

ジャコウモミジの
葉っぱが「蛙」の
手に似ているかな

葉をもむと芳香があることから「ジャコウ」の名前が付いたようです。

モミジとはムクロジ科カエデ属の落葉高木の総称で、日本に自生しているモミジは非常に多く有るようです。

名前の由来は、葉の形がカエルの手「蝦手」に似ていることから、呼び方を略してもみじとなったようです。

モミジとも呼ばれるが、その場合は様々な樹木の紅葉を総称している場合も有ります。童謡などで愛でられるものはそれでだと思います。赤・黄・緑など様々な色合いを持つ為童謡では色を錦と表現しています。

ジャコウモミジ
人の背の高さにまで成長

私は、ジャコウモミジの匂いは、香ばしい香りがして好きです。

玄関のドアを開けた外に植木鉢に植えていつでも手で触れる場所に置いています。

どの木にも匂いが有るものです。私たちが好む匂いを芳香と言いますが私は香木の木が好きです。香木は、心地よい芳香を持つ木で沈香と白檀が有名です。

ジャコウモミジは、四季に合わせて変化します。

春の弱々しい新緑はきれいです。梅雨前には新緑の葉の上に愛らしい小さな花が咲きます。

ジャコウモミジの花

夏の緑葉、秋の黄色葉となり、この、匂い楓の黄色の葉もとても美しく日本の美を感じさせてくれます。落葉後の寒樹姿と枝振りも見所が多くあります。元々日本にあった植物であることから育てやすく私に適しています。

記：大岡津奈子